

岩手郡医報

平成11年7月 No.63

編集 発行

岩手郡医師会

題字 零石町高橋孝先生



エンレイソウ

5月の或る日、沢内村の「かたくりの群生地」を見学に出かけたときに、一面に広がるかたくりの群生（未だ開花せず）の片スミに見つけた。この「エンレイソウ」（ユリ科）は、茎丈は約30cmで直立し、先端には3枚の葉が輪生する。葉は菱形卵円状で、先端はとがっている。3cm程花柄の先にやや横向きに紫褐色の花1個をつける。

成熟した果実は甘いので生食する。また食あたりに2～4g乾燥根茎を煎じて服用するとよい。（「山野草ハンドブック」—主婦の友社刊より）

(M・S記)

目 次

エンレイソウ	1	会員外監事の就任について	12
平成11年度岩手郡医師会通常総会	2	第9回岩手郡医師会春季ゴルフ大会	13
報告	2	岩手郡医師会役員会	14
平成10年度・一般会計決算書	8	岩手郡医師会理事会	14
平成10年度・休祭日当番医決算書	9	岩手郡医師会役員会	15
平成10年度・特別会計決算書	10	岩手郡医師会役員会	15
監査報告書	10	介護保険制度がはじまります	16
平成11年度事業計画	10	随想「海ゆかば」零石町 高橋 孝	17
平成11年度・一般会計予算書	11	会員入会	18
平成11年度・休祭日当番医予算書	12	編集後記	18

平成11年度 岩手郡医師会通常総会



総会次第

1. 開会
2. 出席者確認
会員数91名（A会員51名、B会員40名）
出席者33名、委任状28名
3. 会長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人選出
6. 報告
平成10年度会務報告
(総務)、(産業保健)、(広報)、(保険)、(労災保険)、(学校保健)、(健康教育)、(福祉)、(勤務医)、(生涯教育)、(医師連盟)

とき：平成11年4月17日(土) 午後3:30
ところ：岩手県医師会館 3階 中会議室

7. 議事

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 議案第1号 | 平成10年度一般会計決算書について |
| 議案第2号 | 平成10年度休祭日当番医決算について |
| 議案第3号 | 平成10年度特別会計決算書について |
| 議案第4号 | 会計監査報告
平成11年度事業計画(案)について |
| 議案第5号 | 平成11年度一般会計予算書(案)について |
| 議案第6号 | 平成11年度休祭日当番医予算書(案)について |
| 議案第7号 | 会員外監事の就任について |
| 8. その他 | |
| 9. 閉会 | |

【会長挨拶の要旨】



岩手郡医師会会长

高橋 牧之介

平成11年度の通常総会に出席をいただきありがとうございます。本日の総会は、平成10年度の事業報告・会計決算と平成11年度の事業計画並びにそれに伴う予算案など1号から

7号までの議案であります。よろしく審議のほどお願ひいたします。

新制医師会も今年で52年目を迎えます。今更その歴史の重さに深い思いがいたします。しかしその歴史は自然にできたものではなく、多くの先輩が創りあげてきたものであります。現在は過去からの反映であり、未来への反射でもあります。我々も未来へ反射をさせながら、歴史を創っていくことが、次の入達に対しての責務であります。

21世紀に向けて、薬剤定価・給付基準額制・診療報酬体系・医療提供体制の構築・医療保険とりわけ高齢者医療制度等の問題が山積み

しております。また介護保険の施行もあり、どれをとっても21世紀の医療の方向を決める重要な問題ばかりであります。

考える、機能する、行動する医師会として会務を遂行していかねばなりませんので、よろしくお願ひいたします。

報告

<総務>

理事 及川 忠人

●昨年役員改選後これまでの主な会議・行事

1998年2月14日



岩手郡医師会総会

於 ホテルメトロポリタン本館

会務報告・平成10年度事業計画・一般休日当番医予算

役員改選

3月3日 役員会

役員役割分担の方向・参院選挙等

4月17日 理事会

組織構成・事業計画・行事予定

- 6月4日 役員会
報告・連絡・協議
- 6月13日 岩手郡・紫波郡医師会・消防機関
および防災航空隊合同訓練
於 矢巾町消防学校
- 6月20日 県医師会代議員会
- 6月28日 県医師会総会（釜石市）
- 7月4日 岩手郡医師会通常総会
於 ホテルメトロポリタンNW
会務報告・決算承認・特別講演（菅野正美先生）
- 7月31日 高齢者対策委員会（県医師会館）
- 8月23日 県医師会親睦野球大会（一関市医師会担当）
- 8月29日 介護保険制度に関するかかりつけ医 講習会於県医師会館
- 9月3日 役員会
- 9月12日 東北医師連合会 於 山形市
- 9月14日 郡医師会介護保険担当者打ち合わせ 於 Hメトロポリタン本館
- 9月25日 救急医療講演会（市医師会主催）
- 9月29日 介護保険モデル事業説明会
- 10月15日 岩手郡医師会救急医療懇談会（各市町村との再協定）
- 10月18日 岩手山噴火活動防災訓練・参加（松尾村）
- 11月13日 医療政策・情報担当理事連絡協議会
- 11月28日 郡医師会・特別講演会（菊池久・桜井滋先生）・忘年会
- 12月10日 役員会 報告・協議・行事予定等
忘年会
- 1999年1月9日 岩手県医師会・岩手県歯科医師会合同新年会
- 1月19日 郡医師会新年会
- 2月27日 岩手県医師会代議員会
- 3月5日 病院部会総会・講演（岩崎榮先生）
- 3月16日 理事会（通常総会（4月17日）の打ち合わせおよび資料作成・各担当事業報告・計画の検討）
- 4月17日 通常総会開催予定（平成11年度事業計画・平成10年度決算報告・平成11年度予算・各担当報告・事業計画等）

●今後の事業計画の基本方向

- 1) 事業計画案の策定（案：別紙参照）
- 2) 平成11年度一般会計予算（案：別紙参照）
- 3) 休祭日当番医会計予算（案：別紙参照）
- 4) 総務担当の役割の見直し

- 1 涉外活動の見直し
 - 2 地域行政および関連機関との連携活動
 - 3 県医師会および他郡市医師会との交流活動の企画
 - 4 総務会の定期的開催（少なくとも8-10回）
 - 5 関連講演会等の案内・出席確認業務
 - 5) 岩手郡医師会・医療情報システムの構築
 - 1 県救急医療情報システムの活用
 - 2 岩手郡医師会医療情報システムの整備と方向づけ
 - 3 健康教育システムの活用・普及等
 - 6) 岩手郡医師会定款の見直しと変更
- 地域医療事業計画
- 1) かかりつけ医機能の啓蒙と質的充実
 - 2) 救急医療体制の整備・充実
 - 3) 広域災害医療対策の体制整備と充実
 - 1 岩手山防災対策などの見直し
 - 2 緊急時連絡網の構築・整備
 - 3 各地域での関連機関の連携に関する検討
 - 4) 介護保険基盤の整備と充実
 - 1 かかりつけ医機能の見直し、意見書作成についての研修会開催
 - 2 介護保険サービス提供施設等との連携についての啓蒙活動
 - 3 広域組合に対する指導・啓蒙活動
 - 5) 医療情報ネットワークの構築およびその利用方法の啓蒙活動
 - 1 情報ネットワークの構築による情報伝達の効率化を図る
 - 2 健康医療教育活動の教材としての活用
 - 3 医療政策情報の敏速な伝達を確保する
 - 6) 高齢化社会に対応する保健事業の展開（検診事業等）
 - 1 健康予防等の啓蒙活動
 - 2 地域支援ネットワーク構築への支援活動
 - 3 その他

<産業保健>

理事 八角 正司

●平成11年産業医活動の目標



少子高齢化社会を迎えた今日、高齢者の医療と福祉に対して色々な対策が必要となってきた。そこで、高齢者予備軍といえる勤労者に対して、労働衛生の充実が望まれて

いる。H10年10月から事業所の産業医は、認定産業医でなければならぬと改定された。

今年度の目標として

- 1) まだ認定医になっていない会員には、研修会への参加と、資格取得をすすめる。
 - 2) 郡医師会がH6年度から実施している研修を継続する。
 - 3) 産業医はその職務を実行する。
- ①労働者の健康管理、作業環境管理、作業管理が三本柱。
- ②健康教育、健康相談。
- ③衛生教育
- ④検診事後措置（治癒よりも予防的分野や健康づくりの分野）
- ⑤職場巡回月1回の他に安全衛生委員会への出席と助言
- ⑥健康障害の原因の調査及び再発防止のための措置
- ⑦事業者への勧告

<広報>

理事 嶋 信



●平成10年度事業状況

1. 岩手郡医報の発行
2. 広報委員・いわて医報編集委員連絡協議会への参加
(平成10年6月13日)
3. 県医師会事業（テレビ放送、ラジオ放送）への支援
 - ・平成11年2月の日曜日のラジオ放送（I B C 岩手放送）に零石町上原充郎先生出演

●平成11年度事業計画

1. 岩手郡医報の充実
2. 「いわて医報」(県医師会)への積極的な協力・支援
3. 広報委員・いわて医報編集委員連絡協議会への参加
4. 対外広報活動の推進
5. 郡内広報委員の設置・連携

<保険問題>

理事 佐々木 久夫



1) 診察報酬

平成10年4月に改定が行われたが、その内容は殆んど変化のないものだった。

H9年秋の改定で、1) 社保本人の負担が2割に増額、2) 薬剤費の一

部負担、3) 老人医療の一部負担金の増額、等が行われた。そのため受診抑制→患者数の減少は医師会報に報告されている通りです。

本年度4月1日より老人医療の一部負担金の増額

(外来) 500円→ 530円
(入院) 1,000円→1,100円) ……等の患者負担金の増額が行われた。

2) 社保・国保審査会との懇談

H10年10月県医師会館にて行った。

岩手郡からは、高橋郡医師会長（県医副会長として）、西島郡医副会長（審査医として）、郡保険担当佐々木（久）の3名が出席。

- 1) レセプト提出前の点検は厳重に
- 2) 薬の使用期間の限定

例 H2ブロッcker
胃 潰瘍 8週
十二指腸潰瘍 6週

薬の使用量の限定

例（アピターゼ 0.9 g）

- 3) 納得のいかない場合は、再審査請求すること。

3) 介護保険法

- ・H12年4月よりスタート
- ・要介護認定の申請の受け付けがH11年10月より始まる
- ・介護サービスを受けるまでの流れは
 - 1) 本人又は家族の申請
 - 2) 調査員による訪問調査（項目85項目）
 - 厚生省のコンピューター
 - 3) かかりつけ医の意見書を添付
 - 4) 保険・医療・福祉の学識経験者による介護認定審査が開かれ（自立）（要支援）（要介護）の認定
- 5) 介護支援専門員（ケア・マネージャー）が本人・家族と相談し、介護サービス計画を作成し、在宅介護サービス又は施設介護サービス等のサービス利用となる。

当医師会範囲では零石町と滝沢村、その他6ヶ町村（安代町、松尾村、岩手町、西根町、玉山村、葛巻町）の2つの広域に分れ、それぞれの事業計画策定委員会がその中心となり事業が進められています。

厚生省のコンピューターによる判定の不備が指摘されているが、介護法のスタートに向け改良が重ねられていくことと思われる。

<労災保険>

理事 篠 村 達 雅



岩手郡には、労災指定医療期間が29（病院11、診療所18）あります。

労災保険のアフターケア制度について、労災インフォメーション等の通達は労働省より各指定医療機関に直接郵送されます。

自賠責については、平成5年の基準にもとづいて実施されており、岩手県全体でもほとんどトラブルはないようです。

労災、自賠責についての会議は開かれておりません。

●平成11年度(労災、自賠責)について

労災は健康保険に使えない。労災かくしはルール違反です。社保、国保ともチェックがきびしくなり、労災の患者さんを健康保険で診察しますと、後でレセプトがもどされてきますので注意して下さい。

自賠責をめぐって、運輸省と損保協会の主張が対立しています。運輸省が自賠責保険料の60%を国に出す再保険制度を維持したい考えに対し、損保協会は制度を撤廃し、民間にまかせるように主張しています。

完全民営化すると保険料が安くなるが保険に入らない車が増えたり、ひき逃げで加害者がわからない時の保険金の支払いが不適切になる可能性があるといわれます。

運輸省は再保険のため業務室を抱えており、再保険の運用益から毎年約百億円が交通事故対策センターへの補助金として流れしており、そのセンターには運輸省OB36人が天下りしています。

事故被害者救済の立場からも運輸省の懇談会と金融監督庁の自賠責審議会の動きを注意する必要があります。

<学校保健>

理事 上 原 充 郎



●平成10年度岩手郡医師会学校保健の活動報告

岩手郡医師会が、平成10年度の学校保健活動テーマとして7項目を掲げました。それぞれのテーマについての活動状況を報告致します。

1. 小1・中1・高1の循環器調査

岩手郡全町村において、確実に継続して実

施されている。その多くは岩手県予防医学協会（県予協）が、実施しているが、一部郡内の医師の協力で実施している町村もある。

2. 貧血検査の推進

滝沢村、葛巻町は中学校のみ、他の町村は小中とも県予協により実施されている。

3. 町村毎の校長、保健主事、養護教諭、学校医との学校保健懇談会の開催

平成10年11月末の郡内アンケート調査によると大部分の学校において、年1回～2回の学校保健会が実施されている。但し耳鼻科、眼科医の参加することは全くない学校単位ではなく、地域単位で耳鼻科、眼科の医師の参加をお願いし、その地区的学童の耳鼻科的、眼科的学校保健会を開催していく必要性があると考えられる。

4. 岩手郡地区学校保健会の設立に伴い

各町村教育委員会、町村学校保健会との合同での学校保健事業の推進

平成10年11月21日、第11回岩手郡地区学校保健・安全・給食研究大会が実施された。参加者は約100名ほどで年々参加者が増加している。参加者は、教育長、校長、養護教諭、保健主事、校医、その他の教師である。会員の中には土曜の午後の開催に不満を持っている者もいる。内容は講演として「こども・おとなのメンタルヘルスを考える」と題して西松園内科医院院長、斎藤恵子先生に心あたたまるお話しをしていただいた。又、研究発表は〔自ら健康生活を実施するための保健指導のすすめ方－禁煙防止教育を通して－〕と題して、雫石町学校保健会で研究したものが発表され、二名の助言者からの協力を得、フロアから多くの発言があり盛会であった。

5. 小児成人病検診の必要性の徹底

6. 小児成人病検診の事後指導のあり方の研究

5・6については関連項目ですので一括して報告します。

まず小児成人病検診は一町を除き、県予協により、県医師会指導による小児成人病予防検診システム通り実施されている。この一町も今年度より町内医師と行政との話し合いによりシステム通り実施される見通しになりました。検診の事後指導のあり方については、機会があるごとに学校、校医等を含め、勉強し、更に該当する学童や、父母への指導につとめている。

7. 学童の心の問題（いじめ、不登校等）への取り組み

平成10年末に岩手郡内の小中学校へ学校と校医に関するアンケート調査を実施した。その時、この点についても質問してみた。その結果は、小規模校なので“心の問題”は発生していないという解答が多かったが、しかし少數ではあるが校内で解決してはいるが、これから多くなると考えられるという回答もあった。この項目は今後更に充分に注意していく必要性があると思われる。

●平成11年度岩手郡医師会活動テーマ

1. 学童の思春期保健への取り組み方と性教育のあり方への研究と実施（新規）
2. 幼稚園、保育園保健活動の推進（新規）
3. 学童のスポーツ活動（クラブ活動、スポーツ少年団等）の健全な活動への研究と実施（新規）
4. 感染症新法をふまえた学童の感染症対策（新規）
5. 学童の心の問題（いじめ、不登校等）への取り組み（継続）
6. 小児成人病検診の必要性の徹底（継続）
7. 小児成人病検診の事後指導のあり方の研究（継続）
8. 小1・中1・高1の循環器調査（継続）
9. 貧血検診の推進（継続）
10. 町村毎の学校長、保健主事、養護教諭、学校医との学校保健懇談会の開催（継続）
11. 岩手郡地区学校保健会設立に伴い各町村教育委員会、町村学校保健会との会合での学校保健事業の推進（継続）

<健康教育>



理事 栢 内 秀 彦

平成9年度で県民健康講座は終了し、平成10年度からは岩手郡内の各町村で独自に行う健康教育事業に対し、郡医師会として応援をしましょうとの方針にて始めました。

手段としては各医師会員よりの健康教育関連の情報を得て対応するという幾分消極的な体制をとったためか、年度中は一度だけの連絡をいただいたのみでした。又、その一度も「枠決め」「予算立て」等々、応援体制の整備が行き届いておらず充分な応援ができなかつたことが大変残念に思われました。

今後の問題としては、（平成11年度）

- ①応援の具体的な内容（講師派遣・等）
- ②応援体制の枠決め（規模・回数・予算立て）
- ③町村との関わり（独自・協力）
- ④積極的な啓蒙（医師会員・町村住民へ）

<福祉>

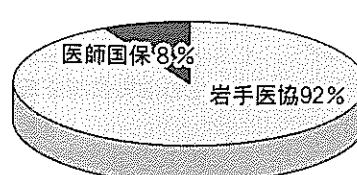
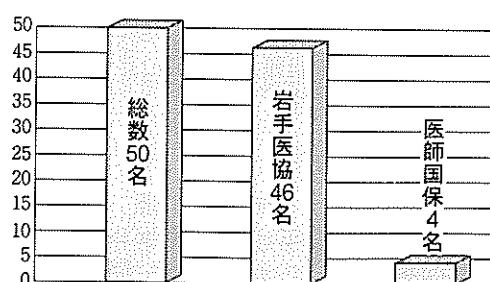


理事 坂 井 博 毅

平成10年度から県医師会の福祉担当理事会は総務部に統合されましたので、昨年度の福祉担当理事会は、開催されませんでした。従ってその会議の報告はありませんが、今日の厳しい社会情勢、とりわけ第一線で医療にたずさわるわれわれにとって今日程厳しい医療環境を経験したことありません。会員各自の福祉対策は極めて重要な趨勢です。

多くの会員の先生方が加入されます医師年金を取り上げましても、運営状況はどうなのか、年金受け取り額のマイナス率はどうなるのかなど、われわれ会員の老後の生活設計に大きくかかわる問題が極めて不明確で不安を残したままであります。また、多額の事業主負担をしています年金基金のメリット、デメリットなどの情報も不安材料ですが、此れ等の実績を報告しなければ成らない立場にありますが、私自身まったく資料がありませんので御報告出来ません。その事をまずもって最初に深くお詫び申し上げます。

平成10年度の成人病検診の岩手郡での実施は6月17日、岩手町保健センター前で行われました。下図の様に医師国保4名、岩手医協46名の計50名の方が受診されました。



診療前の早朝でしたが、順序良くテキパキ整然と実施していただきました。プライバシーの問題もあって、正確な全体の報告はありませんでしたが、悪性腫瘍など生命に直接関係するような疾患は認めなかったようです。個人的には毎年、受診したいと感じました。この他、日曜1日人間ドックも例年通り実施されていますので御利用し、健康に留意されますよう願ってやみません。

●平成11年度各種大会の開催日程

今年度も県医師会単位の野球大会、親睦ゴルフ大会、美術展、同好会単位の釣り大会、囲碁大会、テニス大会、郡医師会単位のゴルフ親睦会が以下の通り行われる予定です。

1. 第51回親睦野球大会 8月22日(日)
宮古医師会担当
2. 第33回親睦ゴルフ大会 9月26日(日)
水沢、江刺医師会担当於栗駒G.C
3. 第28回岩手医家美術展 11月下旬
岩手県医師会館
4. 釣り大会 5月29日～30日
釜石市開催予定
5. 囲碁大会、テニス大会は現在未定とのことです。

岩手郡医師会会长杯争奪ゴルフ親睦会は春、秋2回開催されますが、春の大会は6月6日、岩手沼宮内C.Cで開催されます。秋は10月頃、安比ゴルフクラブで開催予定です。各種大会にふるって御参加下さい。

以上福祉担当の報告といたします。

<勤務医部会>

県立沼宮内病院長 斎 木 嶽

●平成10年5月30日(土)

於 県医師会館

第77回勤務医部会幹事会

部会長は選挙で選出。現部会長の谷口繁先生が再任された。

活動について：地域がん登録及び脳卒中登録事業について八重樫委員長、樋口副委員長からそれぞれ報告があった。

●平成10年7月18日(土)

於 大船渡市「大船渡プラザホテル」

第78回勤務医部会幹事会並びに気仙医師会勤務医部会

①地域がん、脳卒中登録を含め、日本医師会勤務医委員会の報告



②「救命救急センター開設に伴う救急医療の現状と課題」

⑦病院の立場から一県立大船渡病院長生田孝雄先生

平成10年8月1日開設、病床数20床

センター長他医師8名で対応

1日平均約39名の救急

⑦診療所の立場から一山浦医院長山浦玄嗣先生

ペットのないことがあり、最近1年間の病院への紹介患者は、814件で、紹介元に帰ったのが非常に少ない。事後報告に欠ける。土・日の救急対応が速やかではない。

⑦県立久慈病院の現状一県立久慈病院副院长菅原智先生

救急患者は1000人／月、救急車搬送は70～80件で半数は帰宅。

⑦県高次救命救急センターの立場から一高次救命救急センター副センター長谷口繁先生

県南、県北沿岸に新たに設置されたこと、機能分担の推進、広域搬送の充実、救急医学教育、財源の確保など話されたた。

●平成11年1月23日(土)

於北上市「ホテルシティプラザ北上」

第79回勤務医部会幹事会並びに北上医師会勤務医部会

「北上地域の病診連携と将来の展望」

⑦副主治医制度の現状と問題点一北上済生会病院副院长守屋克良先生

⑦病診連携の現状一県立北上病院長後藤勝也先生

⑦精神科の立場から一花北病院長齊藤悦郎先生

⑦緩和ケア事業と病診連携一石川医院長石川和信先生

●平成11年3月6日(土) 於県医師会館

平成10年度(第21回)県医師会勤務医部会総会一講演会

1. 岩手医大衛生学公衆衛生学教授角田文男先生による「最近の産業保健事情と産業医への期待」

2. 岩手医大歯学部名誉教授伊藤忠信先生による「毒の話－中毒症状とその対策」

<生涯教育>

理事 岡 本 彰



平成10生涯教育申告書の提出日は、平成11年4月30日までとなっておりますので忘れず提出して下さい。

単位シールについては郡医師会には添付して提出して下さい。



<医師連盟>

理事 根 本 忠 夫



先に行われた薬価制度改革案阻止運動（医療危機突破署名運動）に関する署名にはたくさんのご協力をいただきありがとうございます。お陰様で岩手県内医師会で、岩手郡は水沢医師会（175%）に次いで第2位（139%）の署名を集めることができました。

また選挙については、医師会は保守系議員を推せんしていますので、今後とも何分よろしく御協力下さいますようお願いします。

議案第1号

平成10年度・一般会計決算書

自 平成10年4月1日
至 平成11年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

《歳入の部》

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
繰 越 金	8,550,000	5,651,416	前年度より繰越
会 費	5,750,000	5,489,000	A会員 95,000×45人=4,275,000円 B会員 1期分 12,000×36人= 432,000円 2期分 12,000×34人= 408,000円 3期分 11,000×34人= 374,000円
入 会 金	0	2,000,000	高橋 真 500,000円 紺野敏昭 500,000円 山口淑子 500,000円 植田 修 500,000円
補 助 金	508,000	83,000	地域医療 学 校 医 28,000円 55,000円
雑 収 入	20,000	13,168	預金利息
合 計	14,828,000	13,236,584	

《歳出の部》

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
[事 業 費]	(11,938,000)	(4,865,328)	
会 議 費	2,600,000	1,323,399	総 会 (2回) 957,123円 理事会・総務会 (各6回) 341,276円 県医総会費 (1回) 25,000円
担当部会別活動費	700,000	0	
生 涯 教 育 費	3,200,000	660,445	学校医研修費 75,400円 医療情報研修費 100,000円 災害救急医療対策費 485,045円
地 域 保 健	1,000,000	159,200	県民健康講座 159,200円
広 報 発 行 費	658,000	269,250	印刷費 (3回) 234,150円 発送費 (3回) 35,100円
租 稅 公 課	80,000	74,000	法人県民税・法人村民税均等割額 印紙税

旅 費	1,300,000	1,375,050	
交 際 費	1,000,000	775,809	
慶弔見舞金	800,000	20,000	
広告贊助金	200,000	120,400	岩手県社会福祉協議会他
雑 費	200,000	87,775	結核予防会岩手県支部協力金他
予 備 費	200,000	0	
[事 務 費]	(2,890,000)	(1,677,191)	
事 務 費	2,890,000	1,677,191	事務連絡費 187,720円 事務所家賃 240,000円 通信費 515,674円 消耗品費 326,157円 印刷費 14,700円 リース料 111,655円 事務処理費 120,000円 雑 費 161,285円
合 計	14,828,000	6,542,519	
次期繰越金	—	6,694,065	歳入 13,236,584円 — 歳出 6,542,519円

議案第2号

平成10年度・休祭日当番医決算書

自 平成10年4月1日
至 平成11年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

《歳入の部》

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
繰 越 金	5,782,000	9,103,834	前年度より繰越
補 助 金	3,882,000	4,239,000	
雑 収 入	16,000	9,652	預金利息
合 計	9,680,000	13,352,486	

《歳出の部》

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
報 償 費	7,100,000	2,961,626	健康教育費 1,680,000円 救急対策費 50,000円 町村との連絡協議会 66,000円 県医野球大会 603,861円 県医ゴルフ大会 60,000円 郡学校保健会 150,000円 講演会・合同研修費 351,765円
需 要 費	400,000	60,805	会 議 費 60,805円
旅 費	1,000,000	826,960	
役 務 費	180,000	0	
慶弔表彰費	800,000	0	
予 備 費	200,000	0	
合 計	9,680,000	3,849,391	
次期繰越金	0	9,503,095	歳入 13,352,486円 — 歳出 3,849,391円

議案第3号

平成10年度・特別会計決算書

自 平成10年4月1日
至 平成11年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

《歳入の部》

単位：円

受 入 先	金 額	摘要	要
繰 越 金	9,057,774	前年度より繰越	
岩 手 県 医 師 会	1,557,840	乳児等医療費助成事業事務交付金他	
県医師信用組合	91,000	平成10年度事務委託費	
県医師国保組合	119,000	支部交付金・保健体育事業助成金	
い わ て 医 師 協	78,946	平成10年度支部交付金他	
雑 収 入	35,947	預金利息他	
合 計	10,940,507		

《歳出の部》

単位：円

受 入 先	金 額	摘要	要
岩 手 医 学 会	344,000	平成10年度会費@4,000×86人	
合 計	344,000		
次 期 繰 越 金	10,596,507	歳入 10,940,507円 - 歳出 344,000円	

監査報告書

平成10年度社団法人岩手郡医師会決算書について

1. 平成10年度岩手郡医師会一般会計決算書の承認について
2. 平成10年度岩手郡医師会休祭日当番医決算書の承認について
3. 平成10年度岩手郡医師会特別会計決算書の承認について

上記決算については慎重に監査いたしましたところ、その収支は適正妥当なものと認めます。

平成11年4月15日

社団法人岩手郡医師会

会長 高橋 牧之介 殿

社団法人岩手郡医師会

監事 細井信夫 久保谷康夫

議案第4号

平成11年度事業計画

21世紀を目前に控え、少子超高齢化を背景とした保健、医療、福祉の環境は、予想を上回る複雑さと多様なニーズの中で混沌とした様相を呈している。医療関係者のみならず一般市民の情報共有化は医療関連年代を深刻にしている。今こそ発想の転換が必要と考える。特に来年度導入予定の介護保険については、法的に審議途中のものもあり、見切り発車となるが、医師会員は介護度審査参入とかかりつけ医意見書の提示について、特別の負担が課せられている。今後、医療機関個々はもとより、地域医療全般に混乱を来すことも危惧されている。

また昨年10月からの看護体制に対する縛りを始めとする診療報酬改正の改悪現象により医業経営上の危機を招きかねない情勢にある。一方政府の経済対策の不透明さは国民の政治不信を増幅させているが、この混乱を脱する

には強力な改革のためのリーダーシップに期待するとともに医療関係者自らも医政にたいする関心を強め、県医師会事業に対する積極的強力はもとより地方自治体との連携を密にしなければならない。

以下、地域医療確保を目的とし、次の重点項目を掲げ、その実践に努めたい。

- (1) 医の倫理と生命倫理への関心
- (2) 県医師会事業への全面協力
- (3) 医政の強化
- (4) 地域医療活動の強化
- (5) 生涯教育の実践
- (6) 会員福祉の充実
- (7) 医業経営の安定化
- (8) 保険医療の適正化
- (9) 地域住民の健康啓蒙教育
- (10) 関係団体との連携

議案第5号

平成11年度・一般会計予算書

自 平成11年4月1日
至 平成12年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

《歳入の部》

単位：円

科 目	金 額	摘 要
繰 越 金	6,930,000	前年度より繰越
会 費	6,140,000	A会員 51人 4,845,000(@95,000×51人) B会員 40人(内免除3人) 1,295,000(@35,000×37人)
補 助 金	83,000	地域医療 学 校 医 28,000 55,000
雑 収 入	17,000	預金利息
合 計	13,170,000	

《歳出の部》

単位：円

科 目	金 額	摘 要
[事 業 費]	(10,110,000)	
会 議 費	2,600,000	総 会 2回 1,200,000 理 事 会 6回 600,000 総 務 会 12回 600,000 監 事 会 1回 100,000 県医総会費 1回 100,000
担当部会活動費	550,000	医学向上費 500,000 生涯教育費 200,000 学校医研修会 200,000 スポーツ医学研修会 200,000 保健問題協議会経費 200,000 産業医研修会等事業費 200,000 医療情報システム研修費 200,000 災害救急医療対策費 400,000 かかりつけ医機能推進連絡費 200,000 介護保険研究対策費 200,000 地域医療対策費 200,000 予 備 費 100,000
地 域 保 健	400,000	各町村の地域保健懇談会 300,000 他都市との懇談会 100,000
広 報 発 行 費	780,000	広報連絡協議会 100,000 印 刷 費 500,000 発 送 費 80,000 編集会議費 60,000 雜 費 40,000
租 稅 公 課	80,000	
旅 費 交 通 費	1,300,000	
交 国 際 費	1,000,000	
慶弔見舞金	500,000	
広 告 賛 助 金	200,000	
予 備 費	100,000	
[事 務 費]	(3,060,000)	
事 務 費	3,060,000	事務員給与 1,200,000 事務所家賃 240,000 事務連絡費 200,000 通 信 費 600,000 消 耗 品 費 300,000 印 刷 費 150,000 水道光熱費 120,000 リース料 30,000 事務処理費 120,000 雜 費 100,000
合 计	13,170,000	

議案第6号

平成11年度・休祭日当番医予算書

自 平成11年4月1日
至 平成12年3月31日

社団法人 岩手郡医師会

《歳入の部》

単位：円

科 目	金 額	摘 要
繰 越 金	9,503,000	前年度より繰越
補 助 金	4,239,000	
雜 収 入	28,000	預金利息
合 計	13,770,000	

《歳出の部》

単位：円

科 目	金 額	摘 要
報 償 費	7,870,000	健康教育費 1,820,000(@20,000×91人) 生涯教育研修費 800,000 生涯・医政対策費 800,000 救急対策費 600,000 町村との連絡協議会 1,400,000 県医野球大会 600,000 県医ゴルフ大会 100,000 郡学校保健会補助金 150,000 講演会・合同研修費 1,000,000 厚生福祉費 600,000
需 要 費	1,500,000	会 議 費 600,000 消 耗 品 費 300,000 印 刷 費 300,000 通 信 費 300,000
旅 費 交 通 費	1,500,000	
慶弔 表彰 費	800,000	
予 備 費	200,000	
次 期 繰 越 金	1,900,000	
合 計	13,770,000	

議案第7号

会員外監事の就任について

行政指導により監事に会員以外より選任することになり、その選考方法及び具体的な人選（弁護士、税理士、公認会計士など）について検討協議する。

尚、現在の会員より2名に追加するか、或いは会員1名、会員外1名とするかについても検討する必要がある。

→役員会に負託していただきたい。

第9回 岩手郡医師会 春季ゴルフ大会

とき：平成11年6月6日(日)
ところ：岩手沼宮内C.C.南コース

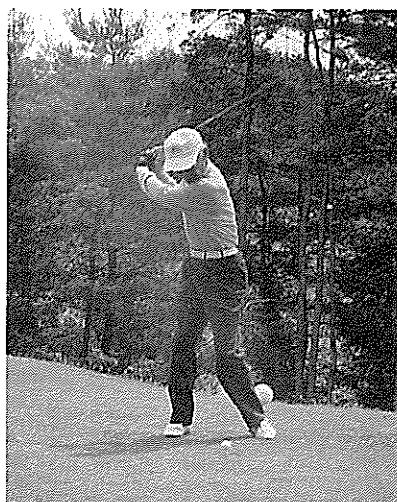


ゴルフ大会参加者

岩手町 佐藤 郁郎

6月6日、岩手沼宮内カントリークラブ南コースで春のゴルフ大会が行われた。参加者14人の予定が急患等で別記の11名とメーカー、問屋の方々の参加も得て、高橋会長の始球式でプレー開始。幸い天候に恵まれ、暑さもたいした事なく、綺麗に整備され新緑に囲まれたフェアウェー、グリーン等とても気持ちが良かった。

スコアは別記のとおり1位佐藤、2位土谷、3位久保谷の各先生で、ペスグロは76の土谷先生、ドラコンは坂井、久保谷、嶋の各先生と和田さんでした。



佐藤郁郎先生のティショット

優勝者がゴルフの記事、感想を書くとのこと、当惑したが一言書いてみる。71歳の高齢者になって優勝等考えた事もなかったし、事実ゴルフを始めてから優勝したこともなかっただけに、司会者の「優勝佐藤」の声に飲んでいたビールで咽せるところだった。昨年は3回ゴルフをしたのみ。今年は4月、5月とプレーし、3回目が今回だった。スコアは100を切れないで今回は100を切りたいなと思っていたが、チョロあり、池ポチャありで、スコアは諦め、高橋会長とのんびり楽しくプレーしたのが良かった。又、カートでのコース移動も楽で脚の衰えた私にはとても良かった。優勝カップの入った箱、商品の入った箱を持って自宅に帰り、大声で優勝して来たぞと言っても家内は全く信用せず、カップの箱を開けて初めて信用した次第。次回のコンペにも是非参加したいと思っている。



優勝した佐藤郁郎先生

【成績】

<医師の部>

順位	氏名	南I	南O	グロス	ハンディ	ネット
1	佐藤 郁郎	51	47	98	26.4	71.6
2	土谷 正彦	38	38	76	3.6	72.4
3	久保谷 康夫	42	46	88	13.2	74.8
4	坂井 博毅	42	39	81	6.0	75.0
5	嶋 信	44	46	90	13.2	76.8
6	三善 悟	47	42	89	12.0	77.0
7	柄内 秀彦	51	48	99	21.6	77.4
8	小山田 喜敬	54	53	107	27.6	79.4
9	細井 信夫	52	51	103	22.8	80.2
10	及川 忠人	55	56	111	27.6	83.4
11	高橋 牧之介	70	68	138	36.0	102.0

<メーカーの部>

順位	氏名	南I	南O	グロス	ハンディ	ネット
1	井上 真宏	45	47	92	19.2	72.8
2	中村 由紀夫	54	52	106	31.2	74.8
3	山口 敏司	46	42	88	12.0	76.0
4	佐原 利典	50	49	99	21.6	77.4
5	慶田 芳一	49	50	99	18.0	81.0
6	和田 均	52	52	104	22.8	81.2
7	藤石 茂夫	55	58	113	31.2	81.8
8	鈴木 公明	52	51	103	20.4	82.6
9	小嶋 義幸	59	52	111	27.6	83.4
10	永山 康秀	53	54	107	22.8	84.2
11	本間 智	61	57	118	27.6	90.4
12	本村 昌巳	55	69	124	32.4	91.6
13	川端 健治	79	82	161	36.0	125.0

岩手郡医師会役員会

日 時：平成11年4月8日(木) PM6:00～
 場 所：盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡
 NEW WING
 出席者：高橋牧、高橋孝、西島、根本、柄内、及川、
 岡本、坂井、上原、篠村、嶋の各理事、
 久保谷監事

- ・郡医師会通常総会開催について
- 総会次第、議長選出について
- ・郡医師会事務職員（女性）の採用について
- ・その他

岩手郡医師会理事会

日 時：平成11年4月15日(木) PM6:00～
 場 所：盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡
 NEW WING
 出席者：高橋牧、高橋孝、西島、八角、及川、佐々
 木、坂井、柄内、篠村、上原、嶋の各理
 事

- ・郡医師会総会におけるプログラムの作成と
 役割分担
- ・各会務報告について
- ・その他

岩手郡医師会役員会

日 時：平成11年5月13日(木) PM6:00～

場 所：盛岡市 梓

出席者：高橋牧、高橋孝、西島、坂井、上原、篠村、
柄内、佐々木、及川、嶋の各理事、細井
監事、坂健康スポーツ医

・インターハイ医療班について

平成11年8月1日より岩手県内で行われる全国高校総体（インターハイ）の岩手郡内で行われる競技の医療班の編成。

各町村の競技は以下の通り。

零石町…サッカー（町営陸上競技場他）

滝沢村…バドミントン（産業文化センター他）

サッカー（総合公園陸上競技場）

西根町…相撲（西根町民体育館）

登山（七時雨山）

松尾村…アーチェリー（村営陸上競技場他）

登山（八幡平）

岩手町…ホッケー（町営ホッケー場他）

・その他

県医師会野球大会の開催地は宮古市にて8月22日。選手は前日出発予定。

練習会は7月下旬を予定している。

岩手郡医師会役員会

日 時：平成11年6月10日(木)午後6:30

場 所：盛岡市大通り ホテル東日本

出席者：高橋牧、高橋孝、西島、根本、及川、八角、
佐々木、柄内、嶋、坂井、岡本、上原、篠
村の各理事、細井、久保谷の各監事

1. 介護認定審査委員の推薦について

葛巻町 西島康之・近藤純造

岩手町 斎木巖・佐々木久夫

西根町 森茂雄・嶋信

松尾村 及川忠人・伊藤昭治

玉山村 八角正司・岡本彰

安代町 伊藤忠信・高橋暁

2. 岩手県医師信用組合総代選挙について

3. インターハイ休日・夜間当番医の依頼について

4. 第51回岩手県医師会親睦野球大会開催について

8月22日(日)宮古市鶴伊川スポーツ公園野
球場など

7月24日(土)滝沢村総合公園野球場にて練
習会

5. 第51回岩手県医師会総会・第102回岩手
医学会春季総会について

6月27日(日)県医師会館にて開催

6. 第33回岩手県医師会親睦ゴルフ大会につ
いて

9月26日(日)栗駒ゴルフクラブにて開催

7. 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提
出について

8. 地域における健康講座の開催について

9. 防災計画・災害自己救急医療対策要綱の
見直し

10. 監事の学識経験者を選任する件

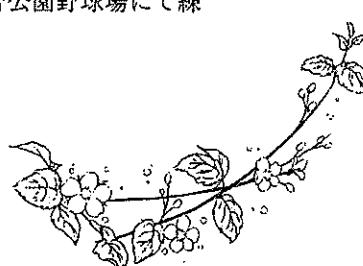
11. 医療救急情報システム一般会員参入の仕
方

12. 岩手郡医報編集委員メンバー構成につ
いて

13. コンピューター2000年問題への対応

14. その他

休祭日当番医について—当番医表の問合せ



介護保険制度がはじまります

平成12年4月1日から

◆介護保険とは

介護保険は老後の安心を皆で支える仕組みです。

わが国では急速な高齢化とともに、介護の問題が老後の最大の不安要因となっています。介護が必要となっても、残された能力を活かして、できる限り自立し、尊厳をもって生活できるようにすることは国民共通の願いですが、現実には家族だけで介護を行うことは非常に困難になっています。介護保険制度は、介護を社会全体で支え、利用者の希望を尊重した総合的なサービスが安心して受けられる仕組みです。

介護保険法は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となり、介護や機能訓練、看護および療養上の管理等の医療を要する者について、これらの者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービスおよび福祉にかかる給付を行い、国民の保健医療の向上および増進を図ることを目的として、平成9年12月17日に公布され、平成12年4月から施行されることになっている。

制度の運営主体(保険者)は、市町村・特別区です。

◇国、都道府県等は、財政面及び事務面から市町村を支援します。

制度のはじまりは、平成12年4月からです。

◇要介護認定の申請の受付は、平成11年10月頃からはじまります。

介護保険に加入するのは、40歳以上の人です。

◇65歳以上の人(第1号被保険者)と40歳以上65歳未満の医療保険に加入している人(第2号被保険者)が介護保険に加入します。

寝たきりや痴呆になつたらサービスが受けられます。

◇寝たきり、痴呆などで常に介護を必要とする状態(要介護状態)になったり、常時の介護までは必要ないが、家事や身じたく等、日常生活に支援が必要な状態(要支援状態)になったとき、介護保険からサービスを受けることができます。

保険料は所得に応じて決まります。

高齢者の保険料は、原則として老齢年金から天引きします。

	第1号被保険者	第2号被保険者
対象者	65歳以上の人	40歳以上65歳未満の医療保険に加入している人
給付の対象者	<ul style="list-style-type: none"> ○寝たきり・痴呆などで入浴、排せつ、食事などの日常生活動作について常に介護が必要な人 ○家事や身じたく等の日常生活に支援が必要な人 	初老期痴呆、脳血管障害など、老化にともなう病気によって介護等が必要となった人
保険料	所得段階に応じて市町村ごとに設定 (平成12年度全国平均1人当たり 月額2,500円程度<平成7年度価格>)	加入している医療保険の算定方法に基づいて設定
保険料の支払方法	<ul style="list-style-type: none"> ○年金額が一定額以上の人は、年金から天引き ○それ以外の人は市町村に個別に支払い 	医療保険料と一緒に支払い

隨想

海ゆかば

零石町 高 橋 孝

「国旗国歌」法案が国会に上提する等の記事が目につくこの頃である。以前に「君が代」について書いたが、政府は「君」を「日本國及び日本國民統合の象徴である天皇と解釈する」を政府の統一見解としている。本来万葉集では「君」は特定の人を指すのではなく、元の歌は「わが君は」であって、延年の舞、酒席でも祝歌として歌われたと言う。不幸にして日本は戦争を経験し、その折りに用いられた国歌、国旗は国民的合意が得られないとして反対している人達もいる。書道歴30年になるが、未だ下手なのだろう、全国展など大きな展覧会への出品作品は大先生の許可が必要である。「海ゆかば」の大字仮名を書き、特に「屍」の字を変体仮名で「可波年」と書き、形態的にも良い作品と思い、書の練成会に参加し神戸の大御所よりゴーサインが出て展覧会出品の許可がでたが、いま日教組が国歌、国旗の制定に大反対のときに「海ゆかば」の書を展出する勇気がない。「海ゆかば」も元々万葉集の4094番の歌で、万葉集の中で三番目に長い大伴家持の作った歌の一節で、特に東北を歌った少ない歌の中の一つである。此の歌は聖武天皇が大仏建立時に大仏に鍍金する金が無いのを悩んでいた折り「ニワトリが鳴いて夜が明ける東の国、陸奥の小田の山に黄金がある」との知らせに喜んだ天皇よりの出金証書に対しての歌である。聖武天皇は現実の政治より仏教への関心が強く、現実の世の中に仏土を作ろうとした。聖武天皇が東大寺に大仏を建立したいと考えたのも浄土への幻想で浄土の中心には仏がいるとの考え方からであった。しかしこの事業を知識寺（一人一人が強いられることなく自発的に財物を寄進したり、労働力を提供してその総力で出来たお寺）の様に考えた。しかしひどい材料不足に悩まされた。大仏は銅で作るが日

本ではありません銅が採れない。その後銅が採れて喜んで「和銅」と言う年号に改めたほど銅は貴重だった。又天平21年（749）大仏の鋳造完成を目の前にして、高さ16メートルの大仏の鍍金に60キロの金が必要であったが、当時日本には金が産出していなかった。しかし、其のとき聖武天皇に陸奥の小田郡から金14キロが献上された。その小田郡は現在の宮城県遠田郡涌谷町周辺のことである。金華山始め資料を提供して戴いた佐々木氏も黄金迫に住み、黄金山神社が祭られて、金に因んだ地名も多い。献上された金は鍍金に使う四分の一の量で、99.8パーセントの純度の高い金だったと言う。聖武天皇は歓喜して、年号を「天平」から「感宝」に改めたほどである。この知らせを心から感動して詠んだ長歌の中で、大伴氏の一族は「内兵」として天皇の側近で近衛兵、親衛隊であったので、大伴氏の家訓とも言うべき「海ゆかば……」を詠い入れたのがこの歌である。「愛國行進曲」「出征兵士を送るうた」「勝って来るぞと勇ましく」を親戚、村人が出て大きな声で歌い出征兵士を送った。戦死して帰る英靈には「海ゆかば」を歌って迎えた。私の育った所は小さな村だが、白い布に包まれた遺骨が妻の胸、父母の胸にそっと包まれるように抱かれて、列車より降り立ち、出征の時と同じ様に、クラリネット、トランペット、ドラムの伴奏で「海ゆかば水浸く屍、山ゆかば草生す屍大君の辺にこそ死なめ願みはせじ」と歌い、海と山を対比させて、水浸くと草生すると言う言葉を使い、特にういういしい少年兵が戦いに倒れて、安らかな顔で水の中でゆらゆらと揺れている光景は子供心にも哀れで、又美しいと感じた。此の歌の文句は此のように鮮烈さをもっている。未だ小学生だったが、此の歌を聞いて涙が込み上げて来たことを思いだしている。

<会員入会>

おやまだ よしのり

①氏名：小山田喜敬（鶴宿温泉病院）



②年齢：65歳

③出身地：岩手県盛岡市

④出身校：岩手医科大学

医学部

⑤診療(専門)科目：

(1)リウマチ科(2)整形外科

⑥勤務の時期：平成11年2月1日

鶴宿温泉病院リウマチ・リハビリセンター長として勤務。(国立療養所盛岡病院名誉院長就任)

⑦趣味：(1)ゴルフ下手の横好き。年々100を切れない状態を嘆いております。(2)囲碁一へボ碁です。どなたか御指南戴けないでしょうか?(3)音楽鑑賞—ポピュラー、クラシック。最近演歌もよいと思う様になりました。

⑧ひとこと：鶴宿温泉病院長久保谷先生、岩手郡医師会長高橋先生の御高配により、入会させて戴き大変有難うございました。西も東も分かりません。よろしくお願ひ申し上げます。

おのでら えいじゅ

①氏名：小野寺英樹（柄内第二病院）

②年齢：昭和7年12月21日生

③出身地：北海道

④出身校：岩手医科大学

⑤診療(専門)科目：脳神経外科

⑥勤務の時期：平成11年1月1日より

⑦趣味：ゴルフ

⑧ひとこと：花巻市医師会（岩手労災病院）から異動しました。何卒ご指導賜りますようお願い申し上げます。

きむら ひでたか

①氏名：木村秀孝（木村内科クリニック）

②年齢：56歳

③出身地：青森県八戸市

④出身校：岩手医科大学大学院

⑤診療(専門)科目：内科、循環器科、呼吸器科、胃腸科

⑥開業の時期：平成11年4月19日

⑦趣味：水泳、ゴルフ

⑧ひとこと：4月19日より開業いたしました。今後ともよろしくお願ひします。

編集後記

◇初夏の風物詩といわれる滝沢村の「チャグチャグ馬コ」は、今年も好天に恵まれて、滝沢村蒼前神社から盛岡市八幡宮までの行進が行われた。

新緑の美しい田園風景と爽やかな風の時節となっても今年の岩手山は仲々騒々しい。いつになったら入山禁止が解除になるやら……。

登山愛好家も、待ち望んでいる方も多いこととは思いますが、周辺（雫石町、松尾村など）のペンション、ホテル、旅館の影響は多大なものがあるようです。

先日も噴煙が上がった(?)とか、大騒ぎがありました。今度は地下爆破による実験チームが、周辺地区の状況調査をするとか。却って岩手山を怒らせなければいいが……。

◇4月17日の郡医師会通常総会は、平成10年度決算など承認可決され、各部会より今年度事業についての計画が発表され、新年度スタートとなった。例年夏に行っていた決算、予算、総会が新たに4月に実施された。

◇郡医師会ゴルフ大会も春には好天に恵まれ、

高橋会長も爽やかな多少の汗をかいながら満足そうであった。前回まで2連覇していた成島先生はあいにく当番医に当り、今回は欠席となった。もっとゴルフ愛好の方々がいると思われますが、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。

優勝した佐藤郁郎先生は、スコア100を切ることを目標にし、予想通り下回り、ハンディにも恵まれ、また、パートナーにも恵まれて好運につながったとのこと。まだまだ年齢に比し、気力衰えは失っていないようで、これからも連覇めざして御精進下さい。

◇随想の高橋孝先生には大変感謝申し上げます。「今回もお願ひします」と依頼したところ、文献を取り寄せて書いたとのこと。毎回ありがとうございます。

◇7月末より、県内各地に全国高総体（インターハイ）の選手が入ってきて、郡内でも8月初旬より競技が開始されます。地元選手はもちろんのこと、大いに激励し、応援して下さい。

(M・S記)